

第3回ゼロカーボン匠瑛推進協議会報告

2022年5月24日 13:30

匠瑛市議会委員会室

<報告事項>

1 匠瑛市の状況

- 協議会の前に ISEP の松原さんと椿、企画課の伊藤さんと宮内市長に面談（45分程度）。ISEP 作成のパワポ資料で申請の流れを含めて説明し、一定の理解は得られたが、積極的に進めて行くという流れにはまだなっていない。
- 今回から所管となる環境生活課から担当者が参加することとなった。

2 i s e p（環境エネルギー政策研究所）との打ち合わせの状況

この間の ISEP との鶴沢さん、事務局との協議内容について報告された。

<協議事項>

1 「匠瑛市における脱炭素先行地域申請に向けた検討資料」について

* i s e p 作成の資料に基づいて説明と意見交換を行った。

2 ゾーン設定に向けての意見交換・協議

○前回積み残しの「申請のイメージ案」の説明

* 椿私案について説明がされた。

* 以下の意見が出た。

- ①避難所に蓄電設備を設置してはどうか。
- ②新たな発電設備をつくるにあたって、東電の系統に空きがなく連系できないのではないか？ その場合どうするか？
- ③地域課題の解決に結びつけていくのがポイント（要件）だが、その洗い出しが必要ということで、企画課の伊藤さんがまとめることとなった。
- ④中干期間延長に伴うメタン削減の取り組みの手段として自動灌水システムを入れる案については、自然給水の所では難しいが、強制給水がされている水田では農業者にとっても魅力的という意見が出た。

3 市や議会、市民や団体などの関心を高めていくために先行している地域などの話を聞いたり、脱炭素の取り組みや先行地域に匠瑛市がなることがどのようなメリットがあるか考える場を持つこととなった。内容は、事務局が中心になって詰めていく。

- 日時は、6月25日（土） 午後1時30分。ふれあいセンターを確保した。（協議会の場合は、6月26日（日）としたが、ふれあいセンターが使えないために変更）
- 広く呼び掛けるが、主な対象は、議員、市職員、関係企業や団体、地域団体などとし、規模は、30～50程度を想定。環境保全会にも呼び掛けてはどうかという意見もあったので、チャレンジする。

4 その他

- ① 次回協議会 6月6日 13時30分 八日市場ドーム 選手控室